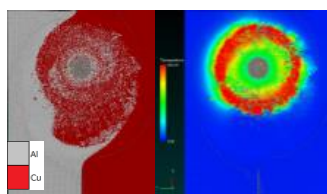
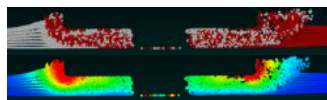


金属の中身を可視化する

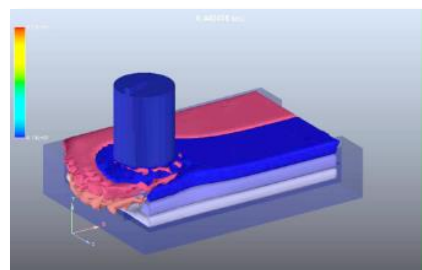
コンピューターの中で物質を再現することで、実験だけでは分からない情報を得ようとする研究を行っています。主に、界面における原子や電子の状態を対象としています。例えば、アルミ合金中の水素がどこにいるのか？がわかれば、その脆さ（脆性）が、アルミと銅を接合するときの最適な温度が解るようになります。



粒子分布と温度分布 上面図



粒子分布と温度分布 断面図

粒子法による
摩擦攪拌接合シミュレーション**キーワード**

計算材料学、コンピュータシミュレーション

分野

計算材料学、塑性加工学